

令和4年度 2級建築施工管理技術検定 2次試験 解答試案

【問題 1】

施工経験記述(品質管理)により省略。

【問題 2】

用語	用語の説明	施工上留意すべき内容
足場の壁つなぎ	足場を仮設するとき、その倒壊を防ぎ安定を確保する目的で、構造物の壁面と足場を堅固に繋ぐこと。またその繋ぎ材。	壁つなぎの垂直・水平間隔は、足場の種類により、決められた間隔以内とする。
帯筋	鉄筋コンクリート柱の主筋に所定の間隔で巻きつけた水平方向の鉄筋。	フック及び継手の位置は、交互とする。
親杭横矢板壁	H形鋼等の親杭を一定の間隔で地中に打ち込み、掘削に伴って親杭間に木材もしくはコンクリート製横矢板を挿入して築造する山留壁。	遮水性がないので、地下水位の高い地盤では地下水処理を併用する。
型枠のセパレーター	せき板相互の間隔を正しく保持するために用いられる金物。	型枠のせき板にセパレーターを垂直に用いないと、破壊強度の低下を招く。
壁のモザイクタイル張り	下地面に張付けモルタルを塗り付け、表張りユニットタイルを叩き込んで張り付けるタイル張り工法。	張付けモルタルの1回の塗り付け面積の限度は、3㎡以下とし、20分以内に張り終える面積とする。
先送りモルタル	コンクリートの圧送に先立ち、輸送管内の水密性や湿潤層の確保を行うことでコンクリートの品質低下を回避するために圧送する富調合のモルタル。	圧送後のモルタルは、型枠内に打ち込まないことを原則とする。
セッティングブロック	建具下辺のガラス溝内に置き、ガラスの自重を支え、建具とガラスの接触を妨げる小片。	ガラスの横幅寸法のおおよそ1/4の所に2箇所設置する。

本解答は、九州建設専門学院の「解答試案」です。解答内容は
予告なしに変更になることがあります。ご了承ください。



タイトフレーム	折板屋根の構成部材の1つで、折板を梁に固定するための山形の力骨。	タイトフレームの取付けは、受け梁にアーク溶接接合する。
天井インサート	コンクリートスラブ面に吊りボルトを取り付けるために、あらかじめスラブ下面に埋込む小形の部品。	インサートは鋼製とし、周囲の端部から 150 mm 以内、間隔は 900 mm 程度とする。
ベンチマーク	建物の高さ及び位置の基準であり、既存の工作物などに基準を記したもの。	ベンチマークは 2 箇所以上設け、相互にチェックを行うとともに、十分養生を行う。
防水工事の脱気装置	防水層のふくれの原因となる下地面の湿気を、防水層の外部に排出させる装置。	アスファルト防水の脱気装置は、25～100 m ² に 1 個程度設置するが、屋上の構造、用途、防水下地の乾燥状態などにより増設する。
マスキングテープ	施工中、構成材の汚染防止と目地縁の線を通りよく仕上げるために使用する保護テープ。	マスキングテープは、シーリング材の接着面に掛からない位置を通りよく張り付ける。
木構造のアンカーボルト	柱、土台などを基礎に定着するために、コンクリートに埋め込んで用いるボルト。	2 階以下の場合は間隔 2.7m 以内、3 階建の場合は間隔 2m 以内とする。
溶接のアンダーカット	溶接の止端に沿って母材が掘られ、溶着金属が満たされず溝状となった溶接欠陥。	アンダーカットが起こらないように、電流を小さくする、運棒速度を適正にする等の対策をとる。

【問題 3】

1. A. 1F 床躯体
B. 内壁塗装
2. 13%
3. 1. 耐火被覆
2. 3 月次中旬
3. 4, 250 万円

本解答は、九州建設専門学院の「解答試案」です。解答内容は
予告なしに変更になることがあります。ご了承下さい。

※下記は試験実施団体より公表

共通

問題4	問題No.	1.		2.		3.	
		①	②	③	④	⑤	⑥
	正答肢	3	1	3	2	2	4

受検種別：建 築

問題 5-A	問題No.	1.	2.	3.	4.	5.	6.	7.	8.
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	正答肢	2	4	1	1	3	3	2	1

受検種別：軀 体

問題 5-B	問題No.	1.		2.		3.		4.	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	正答肢	3	4	2	1	2	2	4	3

受検種別：仕上げ

問題 5-C	問題No.	1.		2.		3.		4.	
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
	正答肢	4	2	3	3	4	2	2	1

検定問題の公表の範囲

●第二次検定は検定問題と解答形式がマークシートとなっている設問の正答番号を公表いたします。

なお、解答形式が記述の設問は正答を公表いたしません。